

機械工部
クラブ
記者

石川県 視察③ 日高機械グループ 田辺鉄工所

すべてオリジナル設備・製作
プレカットライン

社寺仏閣・建築複合加工
機から在来・金物・ログ用
プレカットラインまでの各
種木工機械をはじめとする
産業機械メーカーの日高機
械(石川県羽咋郡志賀町、
日高明正社長)、(株)田辺鉄
工所(金沢市小橋町、同)、
(株)田辺マシニング(鹿
島郡田鶴町、同)の「日高
グループ」は、グループの
加工機・プラントに規格品
はなくユーザーの意見・要
望に合わせてオリジナル設備
を製作—をモットーにして
いる。

生分解林材成型物「りんき」
製造設備などを製作。

一方、田辺鉄工所は明治
三十七年に東京で創業、昭
和十九年金沢市に工場を建
設し戦災を免れたことから
移転、その後業績が低迷し
たことから日高氏が経営を
引き受け、現在は志賀町に
工場を移転し志賀工場とし
ている。現在は、木材関連
では大断面集成材製造加工
ライン、集成材製造設備、
プレカット用羽柄材加工機
などを手掛けているのをは
じめ、日高機械同用に特注
専用機的设计製造販売を主
力に置き、分野を問わない
産業機械設計製造を行って
いる。

「ようやくスタートライン
に立った。これからが本当
の製品操作指導教育セン
ターとしての役割を果たし
ている。」

グループの源流である田
辺鉄工所の創業から今年十
一月で一〇〇年を迎えるが
「ようやくスタートライン
に立った。これからが本当
の製品操作指導教育セン
ターとしての役割を果たし
ている。」

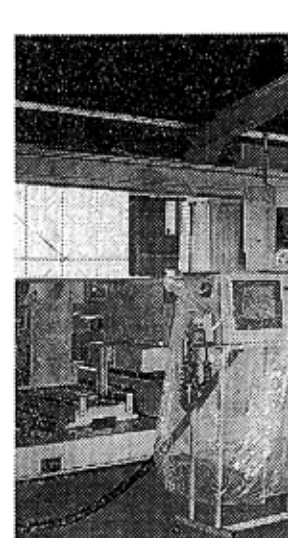
のスタート(日高明広営
業本部長)と、常に挑戦し
続ける姿勢に変化はない。
「規格品はない」とのグ
ループのモットーを支えて
いる大きな力のひとつに、
一〇〇年に渡る歴史の積み
重ねがある。永年の間に入
手し減価償却が終了してい
る中古機械がグループの敷
地内には数万台保管されて
いる。中には、大手企業か
らの見学者が目を見張るよ
うな今では入手困難な超高
級マシンもある。これらの

中古機械を必要に応じ、N
C制御等に整備・改良し
て、受注した加工機械・プ
ラントの製造に役立ってい
る。そして、これは社員の
技術教育にも役立つとのメ
リットもある。

日高グループの最近注目
される成果では、木材くず
を原料とした可燃性ガスを
従来の三倍の高効率で利用
できるバイオマス発電技術
の開発がある。現在、実用
化に向けた開発案件をNE
DO(新エネルギー・産業
技術総合開発機構)へ申請
している。これは、木材を
約八百度のガス化炉内で加
熱し一酸化炭素や水素をエ
ンジン部へ送り電力や温
水を取り出す—もので、燃料
の木材層の中央部しか燃焼
が起らず、従来一〇〜一
五%のガス発生率を三〇〜
四〇%まで高められる。ま
た、燃料の木材くずは乾燥
や粉碎・チップ化の必要が
なく前処理行程削減でコス
ト削減が図れる。

日高機械は昭和三十七年
に日高社長が田辺鉄工所か
ら独立し創業。現在は在来
工法・金具併用型プレカッ
トライン、羽柄材プレカッ
ト機、木材円筒乾燥芯加工
機、社寺仏閣用複合加工機、

また、田鶴浜マシニング
ドは、グループの総合展示
場、研究開発施設、ユーザ



プレカットラインはじめ日高グループの製品に
「規格品はない」がモットー



社寺仏閣・建築 複合加工機から、在来・金物・ログ用プレカットラインまで... <http://www.hidaka.gr.jp>

日高機械

〒925-0212 石川県羽咋郡志賀町徳田
TEL.0767-37-1311 / FAX.0767-37-1558



株式会社 田辺鉄工所

本社：〒920-0844 石川県金沢市小橋町5番35号
TEL.076-252-0124 / FAX.076-252-0125
工場：〒925-0157 石川県羽咋郡志賀町堀松
TEL.0767-32-3663 / FAX.0767-32-3866

(株)田鶴浜マシニング

〒929-2116 石川県七尾市田鶴浜町吉田
TEL.0767-68-6666 / FAX.0767-68-6333